

養育期間標準報酬月額特例

申出書
 終了届出書

記入例

※申出者（届出者）が自ら署名する場合には、押印不要です。

下記のとおり申し出（届け出）ます。 横浜市職員共済組合 理事長		フリガナ		キョウサイ ハナコ	
平成 28 年 5 月 10 日		氏名	共済 花子		
基礎年金番号	1 2 3 4 - 5 6 7 8 9 9	性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input checked="" type="checkbox"/>	生年月日	昭和 平成 60 年 1 月 1 日
フリガナ	カナガワケン ヨコハマシ ○○ク ○○ 1-1				
住所	〒 ××× - ××××				
フリガナ	キョウサイ タロウ	職員番号	XXXXXX		
養育する子の氏名	共済 太郎	養育する子の性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input checked="" type="checkbox"/>	養育する子の生年月日	平成 27 年 10 月 15 日
住所	神奈川県 横浜市 〇〇区 〇〇 1-1				

自署の場合は
押印不要です。

○3歳に満たない子を養育することとなった場合に記入してください。出生の場合:出生日、養子とした場合:養子とした日
 別居していた子と同居することとなったとき:同居した日

当該子に係る養育特例の申出の有無	有・無 <input checked="" type="checkbox"/>	
養育することとなった年月日	平成 27 年 10 月 15 日	養育特例期間開始年月日
基礎月における	名称	〇〇 局・区 室 〇〇〇 課
所在地	〒 231 - 0017 神奈川県 横浜市 〇〇区	
他の実施機関において養育特例の適用を受けていた場合、加入していた実施機関	第1号厚生被保険者（民間企業等） ・ 第2号厚生被保険者（国共済） 第3号厚生被保険者（他の地共済） ・ 第4号厚生被保険者（私学共済）	

養育特例の適用を受けることができる月の初日
 例:育休・産休を終了した日の翌日が属する月の初日
 不明な場合は空欄で構いません。

○3歳に満たない子を養育しないこととなった旨の届出(終了届)の場合、記入してください。横浜市入庁前の職場で養育特例の適用を受けていた場合、加入していた実施期間を○で囲んでください。

養育しないこととなった年月日	平成 年 月 日
該当する事由を○で囲んでください	1 当該子以外の子を養育することとなったため 2 当該子が死亡したため 3 育児休業等を開始したため 4 産前産後休業を開始したため 5 その他 ()

養育しないこととなった旨の届出(終了届)の場合、該当する事由を○で囲んでください。

上記の記載事項は、事実と相違ないことを証明します。
 平成 28 年 5 月 12 日

所属の所在地 横浜市中区港町1丁目1番
 所属の長 証明 所属名 横浜市〇〇局
 所属の長の職氏名 △△ △△

横浜市 〇〇局長印

受付
所属受付印
28.5.11

共済組合受付印

以下の書類を添付してください。（申出書を提出する場合のみ）

- ・子の生年月日及びその子と申出者との身分関係を明らかにすることができる戸籍記載事項証明書又は戸籍謄（抄）本（原本）
- ・世帯全員の住民票（同居が確認できるもの）（原本）

共済組合使用欄

従前標準報酬月額	平成 年 月 等級	【備考】
	月額 千円	